

2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 笹原 利明 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	20,936	34.2	524	6.0	373	0.7	233	12.5
2019年5月期第2四半期	15,603	6.5	494	△1.9	370	△5.6	207	△9.8

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 263百万円 (13.1%) 2019年5月期第2四半期 232百万円 (△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	160.04	—
2019年5月期第2四半期	142.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	27,812	6,487	21.9	4,176.26
2019年5月期	27,923	6,362	21.5	4,111.05

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 6,089百万円 2019年5月期 5,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期 (予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,700	14.6	1,370	23.5	1,030	27.6	650	21.5	445.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	1,480,000株	2019年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	21,778株	2019年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	1,458,222株	2019年5月期2Q	1,458,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発に加え、近隣の伏見駅、栄駅周辺の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年から引き続き増加基調が続いております。分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、他地域から分譲戸建業者が愛知県に進出していることもあり、着工数が堅調に推移しております。短期的には、このような状況が続くと予想するとともに、市場での激しい競争が継続すると考えております。
- ・消費税増税の影響は大きなものではありませんでしたが、今後の消費動向を見極め、適切な対応をまいります。

② 当社の取り組み

- ・商品住宅として工業化と規格化を推進し、事業工期の短縮、品質の安定化を行うとともに、情報処理技術を用いた顧客データベースと、ヒューマンタッチな営業を融合させることによる販売差別化を推進しました。
- ・岐阜工場で生産する製品の物流拠点及び建築部品の工業化を推進するための拠点として、新たに取得した工場建屋の改修が完了しました。建築資材の更なる内製化を行い、商品の独自性を高めるとともに、生産性の向上、コスト改善に取り組んでまいります。
- ・「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」にてナイター照明設備を導入し、2019年11月に夜間プレイのトライアル営業を行いました。2020年3月の夜間プレイグラウンドオープンに向けて準備を行っております。
- ・住宅建築で培った木造建築技術を応用した「HOTEL WOOD 高山」が完成、グラウンドオープンし、運営を開始しました。

③ 当第2四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期実績	20,936百万円	524百万円	373百万円	233百万円
前年同期比	34.2%増	6.0%増	0.7%増	12.5%増

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅(新築)
当第2四半期実績	531戸	515戸	1棟16戸
前年同期実績	395戸	395戸	—
前期実績(通期)	929戸	888戸	4棟41戸

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	18,442百万円	661百万円	販売戸数が増加し、売上高及び利益が増加。
前年同期比	29.2%増	26.1%増	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	1,162百万円	186百万円	「HOTEL WOOD 高山」運営開始に伴い売上高が増加したが、初期投資費用が発生し減益。
前年同期比	5.2%増	26.5%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	872百万円	10百万円	収益型不動産の販売により、売上高が増加。
前年同期比	470.4%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	498百万円	2百万円	宅地販売が増加し、売上高が増加。
前年同期比	281.1%増	86.9%減	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し111百万円減少し、27,812百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し236百万円減少し、21,324百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し124百万円増加し、6,487百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が2,170百万円減少(前年同期は4,405百万円の増加)したこと等により、2,543百万円の収入(前年同期は4,031百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、621百万円の支出(前年同期比8.9%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出等により、572百万円の支出(前年同期は4,179百万円の収入)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,349百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は5,260百万円(前年同期比62.2%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月12日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,920,684	5,269,780
完成工事未収入金	234,150	133,187
売掛金	246,769	298,536
販売用不動産	8,319,908	7,676,893
仕掛販売用不動産	7,938,793	6,673,056
商品及び製品	385,390	263,095
未成工事支出金	1,962,903	1,858,992
仕掛品	134,959	171,961
原材料	245,118	173,040
その他	506,524	543,484
流動資産合計	23,895,203	23,062,028
固定資産		
有形固定資産	3,424,232	4,031,700
無形固定資産	90,450	114,406
投資その他の資産	513,894	604,126
固定資産合計	4,028,576	4,750,232
資産合計	27,923,780	27,812,261
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,083,837	1,748,942
買掛金	448,788	405,899
1年内償還予定の社債	244,000	228,000
短期借入金	10,664,223	10,770,459
1年内返済予定の長期借入金	2,472,298	1,811,790
未払法人税等	69,768	126,412
賞与引当金	132,728	42,528
役員賞与引当金	13,242	—
完成工事補償引当金	129,717	130,934
その他	720,800	954,863
流動負債合計	16,979,406	16,219,830
固定負債		
社債	468,000	352,000
長期借入金	3,233,658	3,531,748
退職給付に係る負債	2,551	2,851
役員退職慰労引当金	154,348	159,079
資産除去債務	13,226	30,485
その他	709,720	1,028,595
固定負債合計	4,581,504	5,104,760
負債合計	21,560,911	21,324,590

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,472,823	5,567,664
自己株式	△41,762	△41,762
株主資本合計	5,995,143	6,089,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△315	△69
その他の包括利益累計額合計	△315	△69
非支配株主持分	368,040	397,756
純資産合計	6,362,868	6,487,670
負債純資産合計	27,923,780	27,812,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	15,603,206	20,936,451
売上原価	13,526,620	18,575,121
売上総利益	2,076,585	2,361,329
販売費及び一般管理費	1,582,153	1,837,061
営業利益	494,432	524,268
営業外収益		
受取利息	39	1,083
受取手数料	10,214	10,727
補助金収入	15,049	6,648
その他	18,104	13,064
営業外収益合計	43,407	31,523
営業外費用		
支払利息	128,263	162,668
その他	39,034	19,995
営業外費用合計	167,298	182,663
経常利益	370,541	373,128
特別利益		
事業譲渡益	5,083	—
特別利益合計	5,083	—
特別損失		
固定資産除却損	2,132	536
特別損失合計	2,132	536
税金等調整前四半期純利益	373,492	372,592
法人税等	140,351	109,504
四半期純利益	233,141	263,087
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,675	29,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	207,466	233,371

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	233,141	263,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	245
その他の包括利益合計	△350	245
四半期包括利益	232,790	263,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,115	233,617
非支配株主に係る四半期包括利益	25,675	29,716

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	373,492	372,592
減価償却費	235,583	248,128
受取利息及び受取配当金	△828	△1,144
支払利息	128,263	162,668
売上債権の増減額(△は増加)	△36,709	49,196
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,405,477	2,170,034
仕入債務の増減額(△は減少)	△152,049	△377,784
その他	197,825	115,222
小計	△3,659,898	2,738,911
利息及び配当金の受取額	828	1,144
補助金の受取額	15,049	6,648
利息の支払額	△139,810	△159,711
法人税等の支払額	△247,719	△43,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,031,550	2,543,510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△665,834	△485,935
無形固定資産の取得による支出	△7,370	△43,865
その他	△8,161	△91,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△681,366	△621,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,845,195	10,044,214
短期借入金の返済による支出	△7,505,644	△9,937,978
長期借入れによる収入	2,225,500	1,886,000
長期借入金の返済による支出	△1,291,841	△2,248,417
社債の発行による収入	198,145	—
社債の償還による支出	△69,700	△132,000
リース債務の返済による支出	△47,632	△46,572
配当金の支払額	△174,558	△138,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,179,464	△572,953
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△533,453	1,349,495
現金及び現金同等物の期首残高	3,777,544	3,911,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,244,091	5,260,778

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	14,276,600	1,104,164	135,058	87,381	15,603,206	—	15,603,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	550	17,843	43,334	61,729	△61,729	—
計	14,276,600	1,104,715	152,902	130,716	15,664,935	△61,729	15,603,206
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	524,447	253,655	△6,774	16,230	787,558	△293,126	494,432

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△293,126千円には、セグメント間取引消去12,315千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△305,441千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	18,442,957	1,161,380	839,838	492,274	20,936,451	—	20,936,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	694	32,250	5,944	38,888	△38,888	—
計	18,442,957	1,162,075	872,088	498,218	20,975,339	△38,888	20,936,451
セグメント利益	661,281	186,500	10,101	2,131	860,015	△335,746	524,268

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△335,746千円には、セグメント間取引消去12,628千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,375千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「住宅事業」「AM事業」「都市事業」「その他の事業」から「住宅事業」「余暇事業」「都市事業」「その他の事業」に変更しております。この変更は、「HOTEL WOOD 高山」運営開始により、経営管理上、事業業績区分の見直しを行ったことに伴い「AM事業」を「余暇事業」に名称を変更し、「その他の事業」に含まれていたホテル運営事業を「余暇事業」へ変更したものです。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。